

た。  
皆さんから「藤樹先生の教えがよく分かって良かった。今日は来てよかった」というお声をいただき、主催者として本当に嬉しい限りです。セミナー終了後、安曇川駅前のホテルに移動し、美味しい料理を食べ、お酒を酌み交わしながら談笑しました。

関係者の皆さん、ご来場の皆さん、たいへんありがとうございました。



### 藤樹人間学塾 今後の予定

二月一日(土) ◎三月七日(土)  
四月五日(日) 五月九日(土)

■時間 十五時～十七時(原則)

■場所 安曇川公民館

◎印は塾終了後、別場所で懇親会あり

### 寄稿

## 『よえもん道場』

高島市青少年育成会議会長

平楽 康男

中江与右衛門さんの名前の通り、よえもんさんを学ぶ場として「よえもん道場」としています。

よえもん道場を実施する趣旨として「子どもたちが地域の自然や歴史を体験学習する機会のなかで、地域を知り、愛着を持ち誇れるものとする。また、宿泊体験などの活動を含め、異なった学年や年齢の集団生活における社会性を養う。」として、年間を通して計画を立てて行事を行っています。参加構成は小学四年生から六年生までとし、中学・高校生でリーダーとなる方、それと大人のサポーター、青少年育成会議の委員とで、年間八回の行事を行っています。

年度はじめには、中江藤樹先生についての史跡を訪ねて先生を知ります。  
「子曰く、学びて時に之(これ)を習ふ。亦(また)説(よろこ)ばしからずや。朋(とも)有り、遠方より来たる。亦(また)楽(よろこ)ばしからずや。人知らずして慍(うら)みず、亦(また)君子ならずや。」

毎回、これを朗読しています。

今年は大洲市を訪ねる大きな行事があり、事前に一泊二日のキャンプをして、本番の三泊四日の大洲市訪問に備えました。

大洲市訪問は、八月十六日に出発しました。参加者は、小学生三十一名、中学生リーダー七名、市民会議委員四名、サポーター三名、保健師さん等行政九名の合計五十八名で、バス二台にて愛媛県大洲市の大洲青少年交流の家に到着しました。職員さんと共に入所式を行い、夕べのつどい、夕食の後、うちわ作りをして、一日目が過ぎました。

施設では、朝のつどい、夕べのつどいは毎日利用者全員が参加して行われます。

二日目の昼食は野外炊飯でカレーライスを作り、午後にはカヌーとクライミングをして楽しみました。

三日目には、大洲市の子どもたちと施設の体育館でゲーム等を通して和気あいあいと交流し、半日が過ぎました。午後は大洲市内で、藤樹先生が二十七歳に高島小川村へ帰るまで過ごされた生活感あふれる所を見て回りました。その後、大洲の人たちが藤樹先生を慕い敬う姿を形として残した碑や建物のすごさに、改めて中江藤樹先生の偉大さを知ることができました。

夕食の後、大洲での最後の夜、



大洲小学校の藤樹少年像の前で



大洲高校横の「至徳堂」(中江藤樹邸)の前で

楽しみにしていたキャンプファイヤー、各班それぞれ趣向をこらしたスタンプの発表と、楽しいひとときを過ごしました。

四日目は、朝食後に退所式があり、